

## ピリジン、フェノールの分析 3 Pyridine, Phenol 3 (Test B)

L-column2 ODS では標準試験、特性試験、塩基性化合物試験、配位性化合物試験、酸性化合物試験など様々な試験をすべてのロットに対して行い、再現性を厳しく評価しています。

それらの試験の1つとして塩基性化合物であるピリジンの分析を酸性化合物であるフェノールと同時に分析して残存シラノールの吸着性を評価しています。その規格値は  $k(\text{pyridine}) / k(\text{phenol}) = 0.340\text{-}0.420$  と定めています。L-column2 ODS ではメタノールを移動相に使用した場合でも、ピリジンのピークはシャープに得られ、残存シラノール基への吸着が非常に少ないことが分かります。

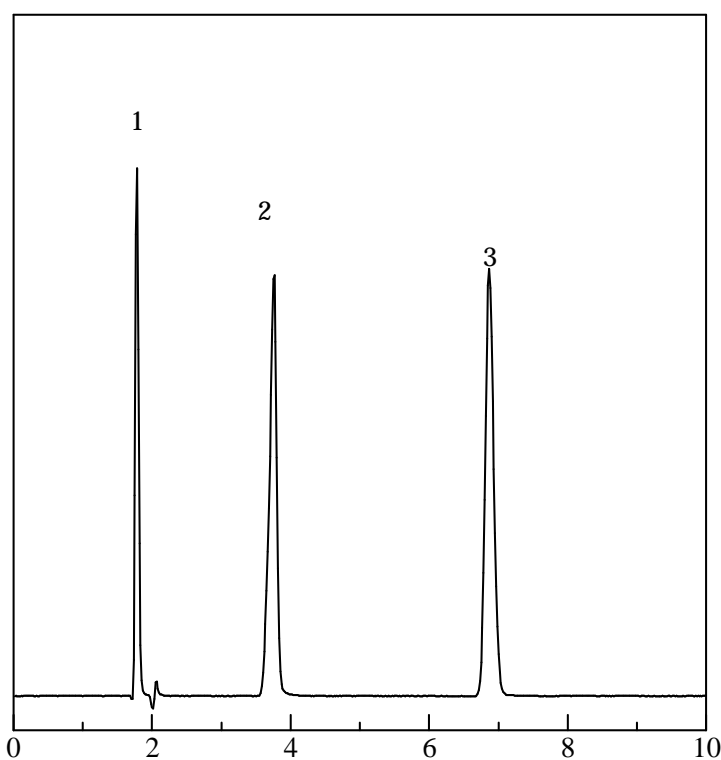
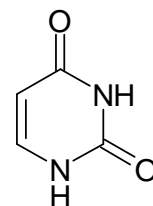
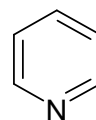


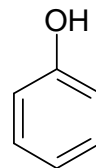
Fig. Chromatogram of pyridine and phenol



1. Uracil (to marker)



2. Pyridine (0.45 mL/L)



3. Phenol (3000 mg/L)

### 【Analytical conditions】

Column : L-column2 ODS 4.6 × 150 mm  
 Mobile phase : CH<sub>3</sub>OH / H<sub>2</sub>O (30/70)  
 Flow rate : 1 mL/min  
 Temperature : 40  
 Detection : 254 nm  
 Injection volume : 1 μL in CH<sub>3</sub>CN